

埼玉 後期募集 英語 出題傾向と対策

昨年度の出題傾向の分析

今年度から前期・後期ともに満点が40点から100点に変更されました。大問によっては配点の比重が変わりました。具体的には、

リスニング:32.5%→28% 読解総合:50%→64%
 和文英訳:7.5%→0% 条件英作文 10%→8%

と、読解総合の割合が増えて他の割合は減りました。この比率は前期募集・後期募集ともに変わりません。特に短めの読解問題が大問1問分増えていることと、今まで問4で出題されていた3つの日本語を2つの英文で表現する問題がなくなったことの2点が大きな変化と言えます。

大問1はリスニング問題です。昨年度と比べて問題数が2問少なくなっています。大問2は新傾向の問題です。短めの文章の読解問題で内容の理解を問う問題ばかりですが、文法の知識を問う語形変化問題が1問出題されています。大問3は会話文の読解問題ですが、内容を問う問題だけでなく並べ替えや単語を書く文法問題も出題されます。また、新傾向の問題として自然な文の流れになるように5語以上の英語を書く問題が出題されています。大問4は長文読解問題です。内容を問う問題で構成されており、形式は昨年とほぼ同じです。大問5は条件英作文です。5文以上という条件が難易度を高くしています。

英語 分野別出題形式			22年度	21年度	20年度
リスニング	記号	内容理解(英問英答含む)	19	9	9
		英問英答			
	記述	和問和答	9	4	4
小計			28	13	13
語彙	記号	綴り			
		語形変化			
	記述	発音・アクセント			
小計			0	0	0
文法	記述	適語(句)選択			
		適語(句)補充			
	記号	語順整序			
		部分英作			
		完全英作			
正誤問題・誤文訂正					
小計			0	0	0
読解	記号	内容理解(英問英答含む)	15	4	2
		内容一致	4	2	2
		段落・文整序			
		段落・文・節挿入	3		
		適語(句)・文選択	4	6	2
		語順整序	4	2	2
	記述	内容理解(指示語など)			
		語形変化	3		
		空所補充	15		6
		和文英訳		3	3
		部分英作	4		
		英問英答	4	2	2
		条件英作	8	4	4
和問和答	8	4	4		
小計			72	27	27
合計点			100	40	40

入試までに準備しておくこと

前期募集のための勉強法を大幅に変える必要はありません。リスニング、読解、文法、英作文と総合的な力を問われる形式です。基礎知識を身につけるだけでなく、出題形式に慣れる必要があります。知識に関しては中1から中3まで偏りなく復習をしましょう。出題形式に慣れるため、過去の問題を解くことは必須です。特に記述問題は記号問題に比べて難易度が高いので、問題を解くためのポイントを意識して繰り返し練習することが必要です。意識すべきポイントとしては、単語を書く問題では時制・単数と複数などの語形変化までできているか、英語の質問に英語で答える問題では主語と動詞を正しくとらえられているか、時制は正しいか、条件英作文はテーマに沿った内容を思い浮かべられるか、ミス減らすために英訳しやすい表現で文を作ることができるか、などが挙げられます。

埼玉 後期募集 国語 出題傾向と対策

昨年度の出題傾向の分析

今年度から前期・後期ともに学力検査が課されるようになり、40点満点が100点満点に変更されました。大問によっては配点の比重が変わっています。具体的には、

漢字:12.5%→10% 文法・語彙・敬語:10%→12%
 小説:25%→25% 論説:25%→25%
 古文:7.5%→12% 作文:20%→16%

と、古文の比重が増え、作文の比重が減りました。この比率は前期募集・後期募集ともに変わりません。

小説、論説については、比重も出題形式も大きく変更はありません。小説であれば心情や場面を問う設問が、論説であれば傍線部の内容や本文全体の主旨を問う設問が多いので、日頃から上記の点を意識しながら読むようにしましょう。

古文は、設問数が1問増え、配点の比重が高くなりました。本文は比較的平易で、「誰が何をしたのか」を把握しながら読むことが正解につながるでしょう。

作文については、「勉強する理由」についてのグラフを見て自分の考えを書くというものでした。文章または資料をもとにした作文であることも、書く際の行数・条件とともに例年と同様でした。

漢字については、書きは主に小学校範囲から、読みは中学校範囲からの出題でした。また、大問2の間3のように、文で説明されている漢字を答える設問が出題されました。文法・表現では、主語・述語の対応、敬語、助動詞の働き(同じものを選ぶ)が問われました。

入試までに準備しておくこと

前期募集のための勉強法を大幅に変える必要はありません。小説では登場人物の心情の変化を把握しながら、論説では段落ごとの内容を把握し、指示語や接続語に気をつけながら読む練習を重ねましょう。記述問題も多いため、ただ読むだけではなく、言葉でまとめる練習が必要です。漢字・文法・語彙では基礎的な学習を重ねましょう。古文については、基礎的な文章でよいので「誰が何をしたのか」を把握しながら読む練習を積みましょう。作文は、まずは過去問を解いてみるのがよいでしょう。できれば、先生にチェックをしてもらうとよりよいでしょう。

国語 出題分野一覧表		22年度		21年度		20年度	
		記号	記述	記号	記述	記号	記述
漢字 語彙	漢字の読み取り		6		3		3
	漢字の書き取り		4		2		2
	四字熟語・語彙	3	3	1		1	
文法・表現			3	3		2	1
敬語		3					
韻文	俳句(鑑賞文含む)						
	短歌(鑑賞文含む)						
	詩(鑑賞文含む)						
資料を含む文章							
小説	心情を問う設問	9	6	2	6	4	2
	場面を問う設問	4	6		2		2
	文章内容との一致問題						2
	本文との正誤問題						
論説	接続語の補充						
	傍線部の理由を問う設問	4	11		2		2
	傍線部の説明を問う設問		5		4		4
	本文の内容を問う設問		5		2		2
	本文との正誤問題			2			2
古文	主語を問う設問	3		1		1	
	仮名づかい・語彙						1
	傍線部の理由を問う設問	3					
	傍線部の説明を問う設問	6					
	本文の内容を問う設問			2			
	本文との正誤問題						1
作文			16		8		8
合計			100		40		40

埼玉 後期募集 数学 出題傾向と対策

出題傾向の分析

大問4つの構成で大問1, 大問2は独立小問集合形式でした。大問1は, 式の計算, 根号のついた数の計算, 式の値, 方程式, 関数, 平面図形, 空間図形, 場合の数と多彩な出題でした。合計12題で配点は全体の半分の計50点でした。

大問2は, 規則性と平面図形の面積, 関数と図形, 空間図形からの出題で, 配点は20点でした。(1)は, 順番に並んだ図形の面積を求める際に, 前の図形の面積を利用するという規則的な部分を見つけると簡単に解くことができました。(2)の面積は, 相似と線分比から求めるものでした。(3)は直線と直線の交点が求まれば容易なものでしたが, 切片が数で与えられていないために, どのように対処すべきか悩んだ受験生も多いのではないのでしょうか。また, (4)は, 角柱と角すいの体積の比を用いて立体の体積を縮めていくことを容器に入れた水を用いて表現した問題でした。大問3は関数。曲線上に点を取り中心を通る円を描いたときに直径を斜辺とする直角三角形ができることを利用した問題でした。ここに気づかないと難解な問題となったことでしょう。大問4は, 作図, 証明, 相似と線分。作図は基本的なものでしたが, 証明は二等辺三角形, 円周角を使った表現, 線分は比例式から方程式を作る問題と難易度が高めのものでした。

入試までに準備しておくこと

これまでの問題から出題形式や内容の大きな変更は, 前期募集同様にありませんでした。得点が100点満点になったことが大きな変更点です。問題は, 各領域から幅広く出題され, また, 途中の過程を記述する出題もありますので, 教科書レベルの問題はきちんと解法まで示すことができるように練習をしておきましょう。出題の続いている「紙を折ること」を利用した問題も前期検査同様に, 平面図形から立体へと多少の変化も見られていますので, 過去の問題はもちろんですが, 数少ない他県での問題も扱って, 備えておくべきでしょう。また, 計算問題は, 速く正確に処理できるようにし, 後半の問題に使うことのできる時間を取れるようにしましょう。さらに, これまでの過去問, 前期の問題を十分に繰り返し行って, 図形や関数の出題形式や問われる技術・処理にも慣れておきましょう。

領域	内容	配点		
		22年度	21年度	20年度
数と式	数の性質・表現	10		
	数の計算	4	2	2
	式の計算	4	2	4
	平方根	8	4	2
	多項式の乗法			
	因数分解			
	小計	26	8	8
方程式	1次方程式			
	連立方程式	4	2	2
	2次方程式	4	2	2
	方程式の応用		4	2
	不等式・不等式の応用			
	小計	8	8	6
関数	比例と反比例	4		
	1次関数			
	2次関数			2
	変化の割合・変域		2	
関数と図形	直線と曲線		2	
	関数と図形	16	4	6
	小計	20	8	8
三角形・四角形	角度		4	
	作図	6	2	2
	合同			
	相似			2
	三角形	7		
	平行四辺形			
円と平面図形	円周角の定理			2
	円と弧・弦・接線			
	線分, 線分比	10	2	4
	面積, 面積比	10	4	2
	点の移動と図形			
空間図形	線分, 線分比			
	展開図, 面積, 面積比			
	体積, 体積比	5		2
	点の移動と図形	4		
	回転体, 球			
	小計	42	12	14
確率	場合の数	4		
	確率		2	2
総合問題	数と式			
	図形			
	その他		2	2
	小計	4	4	4
	合計	100	40	40